

創域理工学研究科の求める教員像及び教員組織の編制方針

(1) 求める教員像

- 本学の求める教員像を踏まえ、創域の理念を理解し、創域理工学研究科における教育・研究・社会貢献・管理運営の各種活動に意欲的に取り組める者
- 創域理工学研究科の人材育成に関する目的、修了認定・学位授与の方針等に掲げる能力を教授するために、修士課程においては、学部における一般的及び専門的教育の基礎の上に、広い視野に立って清深な学識を修め、理学及び工学における理論と応用の研究能力又は高度の専門性が求められる職業を担うための卓越した能力を養うという目的、博士後期課程においては、理学及び工学における独創的研究によって従来の学術水準に新しい知見を加え、学術の創造と文化の進展に寄与するとともに、専攻分野に関し自立した研究活動を行うに必要な高度の能力を養うという目的を達成する能力を有し、継続的にその資質・能力の向上に努める者
- 事物の本質を探究し、その知見を応用する理学と工学の連携のもとに確かな研究を展開し、科学と技術を創造するとともに、専門分野の研究成果を通して地域・社会に貢献できる者
- 国際的な視野を持った理工系人材の養成及び世界に向けて最先端の研究を発信することにより、創域理工学研究科のグローバル化に貢献できる者
- 周囲の教職員と多様性を認め合い協働しながら、創域理工学研究科・所属専攻における教育研究活動学部並びに・学科の合意形式等の活動に対し、自らの役割を果たすとともに、大学全体の管理運営にも寄与できる者

(2) 教員組織の編制方針

- 創域理工学研究科・各専攻の目的、方針（ポリシー）を実現するために必要な教員を適切に配置する。
- 創域理工学研究科・各専攻における教育研究活動を継続的に実施するため、年齢構成、職位及び性別のバランスに配慮しながら、多様な人材を配置する。
- 各専攻の自主性を尊重すると共に、研究科全体の合意形成等の各種活動に対して、教員間で連携・協働するために、適切にその役割を分担する。
- 教員の募集・採用・昇任等にあたっては、創域理工学研究科・専攻の運営に資する人事であるかに留意し、本学の関係諸規程等に基づくとともに、透明性・適切性を担保しつつ、公正・公平に行う。